

自家発・直流電源装置を販売・施工・保守

北越機電工業株式会社(新潟市西区)



鈴木 敬彦 社長



和田 捷 会長

今回は、停電対策用として活用される自家発電装置・直流電源装置・交流電源装置の販売・据付工事・保守等に取り組む「北越機電工業株式会社」取材した。

代表者は鈴木敬彦(すずき・よしひこ)社長。所在地は〒950-2031新潟市西区流通センター1丁目3-3。☎025-268-5133。

創業は昭和48年(1973年)8月。「本社(営業部・工事部・総務部)」、新潟市東区の「東事業所(エンジニアリング部・サービス部・営業部電源システム課・総務課)」、新潟市西区の「的場流通工場」の3事業所あわせて従業員数55名。

創業以来、ビル・病院・公共施設・工場・水処理施設・発電所・マンション等で停電時に利用者や設備を守るための自家発電装置の販売、据付工事の現場代理人、納入後の試運転、定期メンテナンスを行っている。

また、変電所・発電所等の操作電源、非常照明向けに電力供給を行うための直流電源装置(バッテリー)、コンピューター等の情報機器を守るために設置される交流の無停電電源装置(UPS)の販売・施工・保守管理に取り組んでいる。

★創業の経緯★

昭和48年(1973年)8月、新潟市小針で「北越機電工業」は設立された。昭和51年(1976年)10月、新潟市寺尾へ移転した。昭和60年(1985年)9月、新たに造成された新潟市流通センターの現在地へ移転した。その頃、新潟鐵工所(当時、現在・新潟原動機)、東京電機それぞれの「代理店」として、漁船や作業船向け船用エンジンを中心に、自家発電装置向け陸用エンジンの販売を展開していった。

平成14年(2002年)8月、新潟鐵工所のサービスステーションとして溶接・製缶・組立作業等を行っていた新潟市の株式会社新海鉄工所を購入した。同時に、新海鉄工所の事業を承継する「柳島事業所」を開設した。それにより、船用部門のサービス拠点の拡充を図った。

平成15年(2003年)12月、本社事務所を増築した。平成23年(2011年)4月、船用部門の受注減少を受け、柳島事業所を閉鎖した。代わって、柳島事業所の事業を承継する「東事業所」を開設した。

経営理念

一、顧客本位

企業・組織の目的は顧客価値の創造である

二、独自能力の追求

三、社員重視

社員の尊厳を守り、独創性と知の創造による企業・組織目標の達成

四、社会との調和

企業・組織は社会の一員であり、仕事を通じて社会に貢献する

平成27年（2015年）7月、GSユアサの代理店である新潟市の株式会社日電商会を吸収合併した。日電商会のバッテリー事業等を東事業所へ承継して、直流電源装置・交流電源装置の事業へ本格進出した。それに伴い、非常照明用の直流電源装置、コンピューター等の情報機器用の無停電電源装置等の販売・施工・メンテナンスの受注が増加した。

平成28年（2016年）7月1日付けで、「的場流通工場」が竣工した。的場流通工場では、自家発電装置や非常動力装置の組立作業、排気管の溶接作業、ダクトの製作等に「一気通貫」で取り組む。それにより、各種装置および周辺機器の内製化を推進し、コスト競争力をより一層高めることで、受注拡大を目指す。



北越機電工業株式会社の本社

★事業の変遷★

北越機電工業の事業は4部門に分けられる。

「自家発電装置部門」……公共施設、病院、学校等に設置される消火栓やスプリンクラー等に給電するための防災用発電装置、上下水道施設等に設置される非常用発電装置、金融機関等に設置される予備電源としての常用自家発電装置に関する設計、施工、販売を創業当初より手がけている。新潟県庁向けガスタービン発電装置、東日本高速道路向けディーゼル機関発電装置等の豊富な施工実績を持つ。

中でも、『昭和45年（1970年）から昭和54年（1979年）にかけて、国内で空前のボーリングブームが沸き起こった。それを機会に、停電対策としてボーリング場等の遊戯施設向けにディーゼル機関を搭載した非常用発電装置が一気に導入されていった。』（和田捷会長談）

「直流電源装置部門」……非常照明や受変電設備の制御電源として設置される直流電源装置に関する設計、施工、販売を手がけている。

「交流電源装置部門」……コンピューターやサーバー等のバックアップ用電源として設置される無停電電源装置（CVCF、UPS）に関する設計、施工、販売を手がけている。同社では、新潟県魚野川流域下水道堀之内浄化センター向け無停電電源装置等の施工実績を持つ。

「メンテナンス部門」……非常用・常用を問わず産業用ディーゼル機関、ガス機関、2種類の燃料を使用可能なデュアルフューエル機関に加え、陸用の自家発電装置、船舶用のポンプ機関や補機機関に関する定期メンテナンス、オーバーホールを行っている。浚渫（しゅんせつ）船に納入したポンプ機関と補機機関のほか、新潟市民芸術文化会館に納入したガスタービン発電装置や、ディーゼル発電装置の定期メンテナンスを請け負っている。



平成28年7月1日に竣工した的場流通工場



的場流通工場の内部

★販売に注力する分野★

北越機電工業では現在、東京電機、新潟原動機、西日本発電機、デンヨー、GSユアサの5社の代理店として、また、三菱重工エンジンシステムの特約店として、自家発電装置・直流電源装置・交流電源装置の販売・施工・メンテナンスを行っている。各種電源装置等の生産拠点として、今年7月1日付けで竣工した「**的場流通工場**」がある。電源装置等に搭載されるエンジン等のメンテナンス整備のサービス拠点として「**東事業所**」がある。

直近の売上高の各事業の割合をみると、自家発電装置等の事業は全体の売上の約50%、直流電源装置等の事業は約25%、メンテナンス整備の事業は約25%となっている。今後、外部の技術講習会の受講や公的な技能・技術資格の取得をより一層奨励してさらなる技術力向上を図るとともに、陸用部門を中心に積極的な営業活動を展開して売上高を伸ばしていく方針だ。



東事業所



的場流通工場の最新鋭の工作機械

環境に優しい都市ガスやLPガスを燃料に使用する「自家発電装置」「直流電源装置(バッテリー)」「無停電電源装置(UPS)」等の販売・施工・メンテナンスの新規受注の獲得に注力していく。

すでに、そうした取り組みが功を奏して、自家発電装置の更新計画に基づいた新潟県庁舎向け「ガスタービン発電装置(6600V・2,000kVA、6600V・500kVA各1基)」の導入事業を、同社は株式会社ユアテックより受注したという。

引き続き、官庁施設や水処理施設、ポンプ施設向けの自家発電装置のほか、各種電源装置、コージェネシステム、非常動力装置、消火ポンプ、制御盤の新規受注の獲得を目指す。また、既存の設備・装置の定期メンテナンスの受注獲得にも注力していく。